

眼科学 (隣接医学 A)

5年 (前期)

四宮 加容・講師 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 江川 麻理子・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 長澤 利彦・助教 / 病院, 井上 昌幸・助教 / 病院

【授業目的】眼科学の全般を、総論1回と各論3回に分け教授する。総論は、眼球および視覚路の解剖、生理機能および検査法について述べる。各論は、眼球を主体とした各組織の疾患について解説する。これらを通し眼科学の知識、視覚の大切さを修得させる。また、医療従事者として、知っておく必要がある伝染性眼疾患、視覚障害者の誘導法について学ぶ。

【授業形式】講義

【授業方法】講義

【授業場所】火曜2時限・示説室

【履修上の注意】試験は学生便覧の歯学部規則を満たしている者に対して行う。

【授業計画】

	内容	担当
1~4.	眼球および視覚路の解剖、生理 検査法、診断学 眼瞼、涙器、結膜、強膜疾患 角膜、虹彩毛様体疾患および緑内障 ぶどう膜、硝子体、網膜疾患 視神経、眼窩、眼筋、全身病と眼 歯科医の必須眼科学	上記担当教員により適宜 分担する。

【成績評価】評価は筆記試験により行う。100点満点で60点以上のものを合格とする。

【再試験】行う。

【教科書】

- ◇・エッセンシャル眼科学
- ◇・イラスト眼科
- ◇・現代の眼科学

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217346>